

第1回 GIGAスクール推進協議会

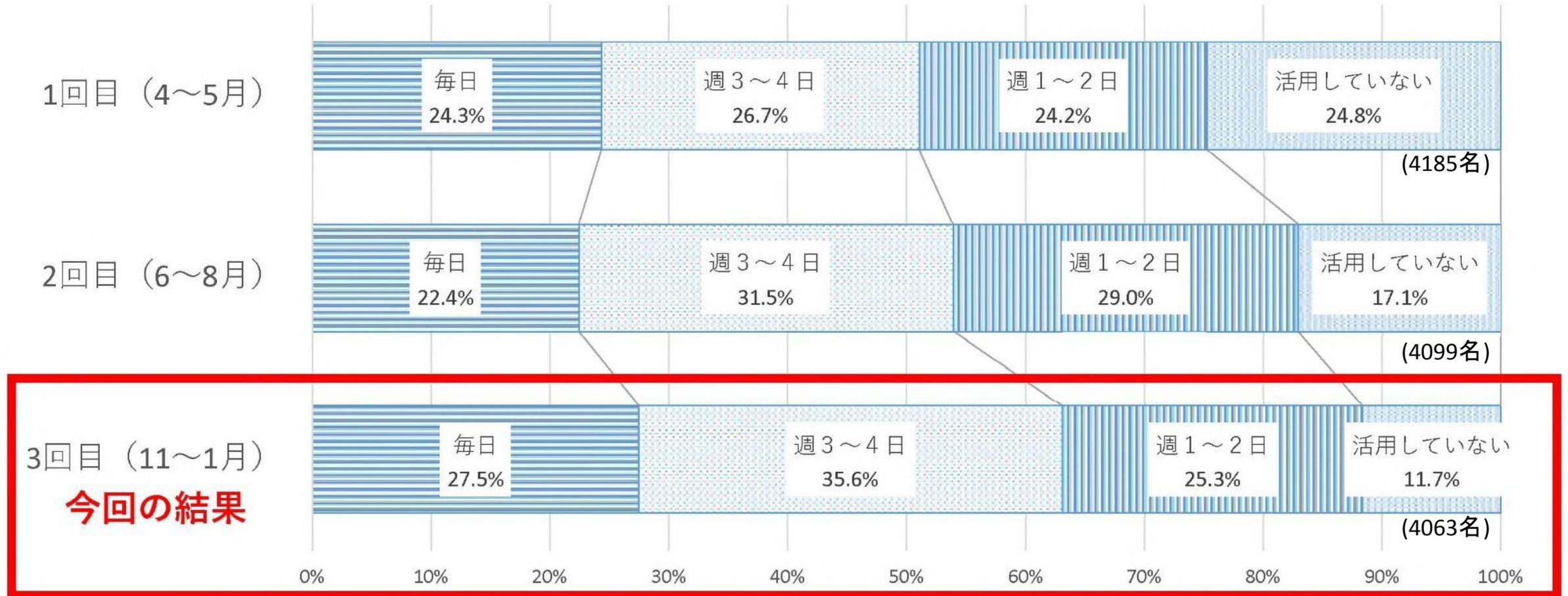
「仙台市学校教育情報化推進計画」
「仙台市学校教育情報化推進計画 令和5年度行動計画」
に基づく令和5年度の取組について

令和5年5月24日(水)
仙台市教育局

令和4年度 端末活用状況

- 1 端末活用目標の到達状況
- 2 週授業端末活用率
- 3 端末の持ち帰り状況
(オンラインを活用した家庭学習)

1 端末活用目標の到達状況



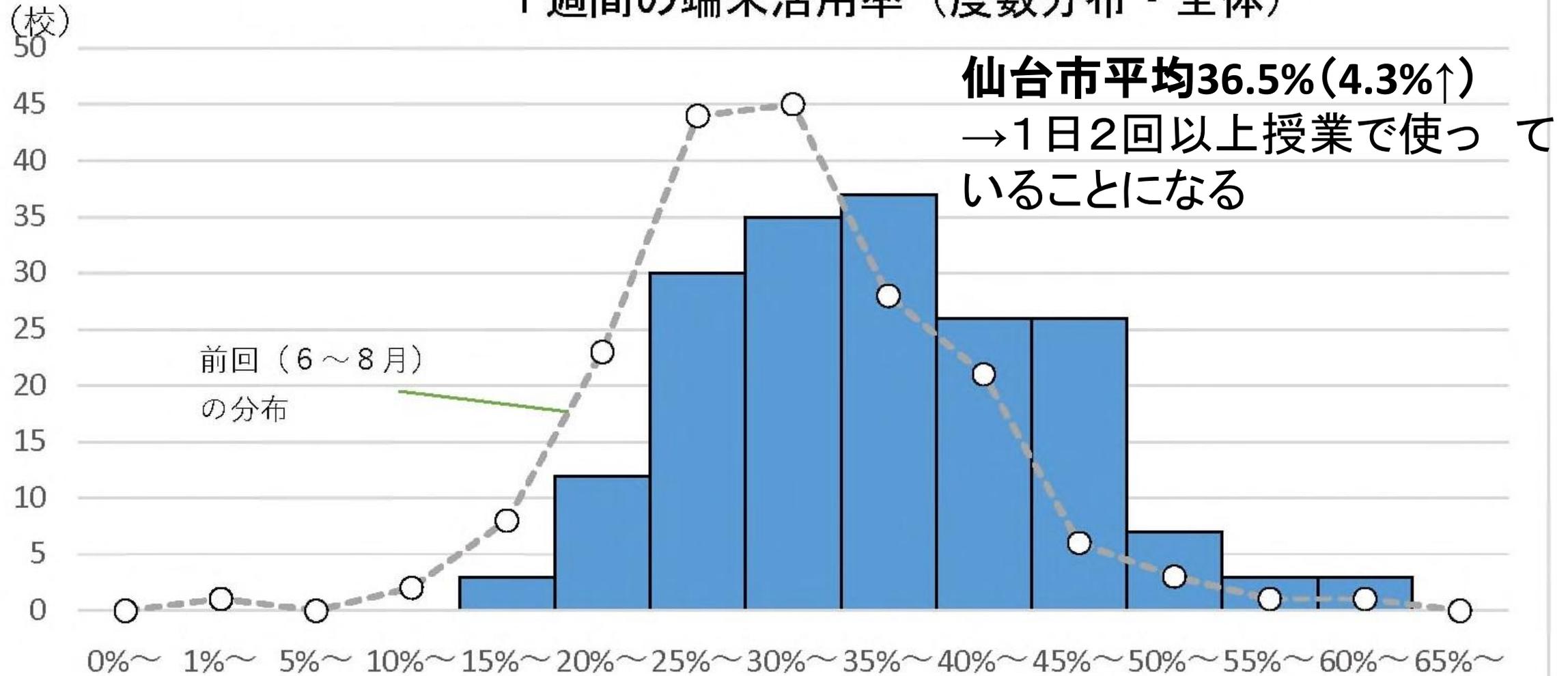
◎「毎日」あるいは「週3～4日」と回答した教員の割合がさらに増えている(51.0%→53.9%→63.1%)。

◎「活用していない」と回答した教員の割合がさらに減っている(24.8%→17.1%→11.7%)。

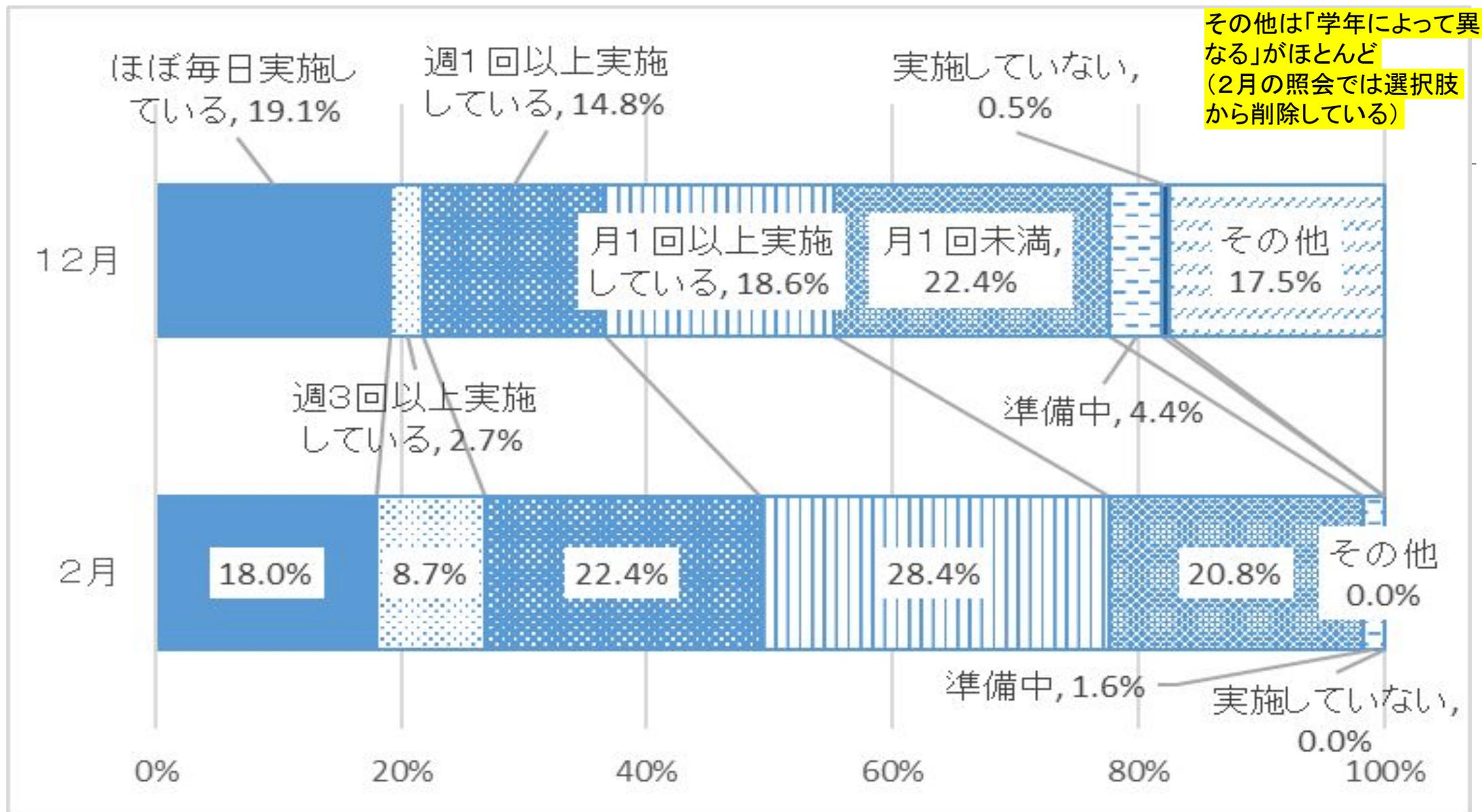
●「活用していない」と回答している教員が1割程度いる。

2 週授業端末活用率(学校ごとの分布)

1 週間の端末活用率 (度数分布・全体)

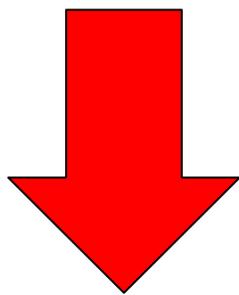


3 端末の持ち帰り状況(オンラインを活用した家庭学習)



今後の方向性

令和4年度 児童生徒が、ICTを「当たり前・日常的」に活用



令和5年度～ 児童生徒が、自分の学びを広げるICT活用

仙台市GIGAスクールの方向性

これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む

○ これからの高度に発展した情報化社会を、「たくましく」「しなやか」に生きるために、必要な資質・能力としての情報活用能力を育成します。
○ 自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育成し、多様な学びで児童生徒に豊かな創造性を育みます。

令和5～9年度（予定）

【SENDAI GIGA STEP 3】児童生徒が、自分の学びを広げるICT活用

- ① 学習者個人、MEXCBI等による学習履歴データの蓄積・活用、先端技術の活用
- ② 社会教育・民間等、学校外の学びとの連携
- ③ 学習履歴を活用した指導の充実
- ④ 児童生徒の学びを拡張したキャリア教育
- ⑤ 先端技術を活用した協働的な学び
- ⑥ 学校や他の施設・機関との連携
- ⑦ 教科を横断した探究的な学びに向けた教科横断的な取組

技術・時代の変化にあわせて進化・修正

令和4年度～

【SENDAI GIGA STEP 2】児童生徒が、ICTを「当たり前・日常的」に活用

- ① 【学校】 端末、クラウドの日常利用化（授業と家庭学習等の連携） ※学びの保障
- ② 【学校】 情報活用能力を発揮しながら、豊かな創造性を育むための「探究的な学び」の推進
- ③ 【学校】 自らの学びをより良くするための「個別最適な学び」と、「協働的な学び」の一体的な推進
- ④ 【学校】 情報活用能力を系統的に育成するための、カリキュラム・マネジメントの推進
- ⑤ 【学校】 プログラミング教育・STEAM教育・情報モラルや情報セキュリティ教育の推進
- ⑥ 【学校】 指導者用・学習者用デジタル教科書の利活用
- ⑦ 【教育委員会】 児童生徒の情報活用能力の実態把握と、学校現場に有用な情報の積極的な発信
- ⑧ 【教育委員会】 デジタル教科等の利活用に関する情報発信・ICT支援員等による学校支援（デジタル教科書、デジタルドリル、みやぎ情報活用ノート、SmDX Sns、副教材のデジタル化等）
- ⑨ 【教育委員会】 MEXCBIや学習ポータルを利活用できるための環境整備や情報発信

教育課程の工夫や充実
情報活用能力の育成

教育データ活用
プログラミング・STEAM教材
学習者用デジタル教科書
VRコンテンツ
端末の持ち帰り

令和3年度～

【SENDAI GIGA STEP 1】児童生徒が、ICT活用に慣れる

- ① 授業活用（まずは、触れる・使う）
- ② 日常での利用（教科以外）での活用
- ③ 端末持ち帰り練習（非常等の備え）
- ・文字入力スキルの特習
- ・カメラ機能の活用
- ・クラウドサービスの基本的な使い方
- ・教材・課題の配布・回収
- ・動画や番組の視聴
- ・アンケートの活用
- ・学校行事での活用
- ・オンライン授業の実施
- ・家庭との連絡・連携
- ・情報モラル等

学習指導要領が、「**4つの資質・能力を育成するための「4つの学び」**」を推進

児童生徒が、「**全ての学習の基礎である情報活用能力**」を身に付け、自分の力を発揮

※1「4つの学び」・「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」「学びの保障」

令和5年度の取組について

基本方針1

児童生徒がICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

基本方針2

教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実

基本方針3

ICTを活用するための環境整備

基本方針4

学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築

令和5年度の取組について

行動計画							点検・評価	
項目	概要	令和9年度までの目標	担当課	令和5年度の取組	達成時期	実績・課題	見直方針	
基本方針1 児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成								
1-(1) 情報活用能力の育成								
1-(1)-① カリキュラム・マネジメントによる体系的な育成	カリキュラム・マネジメントを充実させ、発達の段階に応じて、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していく。	A 市立学校が、情報活用能力に関する意識調査の結果をもとに、情報活用能力育成の年間指導計画を作成。	教育指導課、教育センター	モデルカリキュラムの内容を適宜見直し、各学校に周知	継続	年内		
		B 市立学校が、教育用クラウドを日常的に活用(常時家庭での活用も含む)できる情報活用能力育成の年間指導計画を作成。	教育指導課、教育センター	モデルカリキュラムの内容を適宜見直し、各学校に周知	継続	年内		
		C みやぎ情報活用ノートのデジタル化と、StuDX Style等を参考にした授業事例の普及。	教育指導課、教育センター	デジタル化5事例程度(みやぎ情報活用ノート)と、StuDX Styleの事例を、情報発信し学習eポータル等に登録	継続	年度内		
		D ICTとこれまでの実践の最適な組合せ事例の研究を行い、事例を発信。	教育センター	ICTとこれまでの実践の組合せ事例を発信する。	新規	年度内		
1-(1)-② プログラミング教育の推進	校種間の連携・接続を考慮して、学校で系統的にプログラミング教育を実施する。	A 市立学校で、系統的(教科等横断的)にプログラミング教育を実施。	教育指導課、教育センター	系統的(教科等横断的)に実践できるプログラミング教育の事例(小中学校全学年分)を収集する。	継続	年度内		
		B 市立小中学校において、プログラミング教育やSTEAM教育を全学年及び全教科等で実施。	教育指導課、教育センター	プログラミング教育やSTEAM教育の全学年で実践できる事例(プログラミング検定等)を紹介する。	継続	年度内		
		C 毎年、プログラミング教育やSTEAM教育の事例(プログラミング検定等)を作成し積極的に発信。	教育指導課、教育センター					
1-(1)-③ 学校・家庭・地域における情報モラル教育・情報セキュリティ教育の推進	児童生徒の情報モラルの実態を把握し、学校と家庭の両方で効果的に取り組める情報モラル教育や情報セキュリティ教育を進める。	A 児童生徒の情報モラルの実態を把握し、学校と家庭の両方で効果的に取り組める情報モラル教材等を活用して、すべての学校で実施する。	教育指導課、教育センター	実態把握に基づいた各校の情報モラルの教育計画を作成する(情報活用能力育成の年間指導計画)。	継続	夏頃		
		B 高度に発達した情報化社会に積極的に関わろうとする態度を身に付けるための取組を研究し成果を普及する。	教育指導課、教育センター	児童生徒の情報モラル(デジタル社会に積極的に参画する態度を含む)育成のための実践事例を紹介する。	継続	年度内		
		C 市立学校で、情報セキュリティ教育の実施をする。	教育指導課、教育センター	情報セキュリティ教育のための実践事例を紹介する。	継続	年度内		

令和5年度の取組について

基本方針1

児童生徒がICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

- ◎デジタルドリルの導入 1-(2)-①
 - ・4月上旬から活用できるよう整備
 - ・毎週水曜日にオンライン研修を開催
 - ・今年度初めて活用する学校も、昨年度に別なドリルを活用していた学校もスムーズに導入できている

令和5年度の取組について

基本方針1

児童生徒がICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

◎「リーディングDXスクール」実証事業
(情報化推進部会)1-(2)-②等

◎「STEAM Lab」実証研究
(情報化推進部会)1-(1)-②、1-(2)-③、3-(1)-①等

令和5年度の取組について

基本方針1

児童生徒がICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための
資質・能力の育成

- ◎学習者用デジタル教科書実証事業 1-(2)-④、3-(1)-①
→英語を全学校、
算数・数学を約半数の
学校に配備



令和5年度の取組について

基本方針2

教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実

- ◎ミドルリーダー養成研修の実施 2-(1)-①
→「GIGAスクール推進担当者研修会」の開催
(6月、10月、2月)

ミドルリーダー

→校内でGIGAスクール構想の推進を担う教員

令和5年度の取組について

基本方針2

教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実

◎ICT支援員の継続配置 2-(1)-③

ICT支援員の具体の支援内容が分かる学校支援事例集
の作成・発信



令和5年度の取組について

学校支援事例集の改善

ICT支援員の
支援内容欄を追加

小学校 1年 A1 学活 【ロイロノート】夏休みの思い出を共有しよう Case 102

主な学習活動 児童の夏休みの日記を通して、Chromebookの写真撮影機能の使用方法和、ロイロノートでの画像の大きさ調整、提出までの流れを学習する



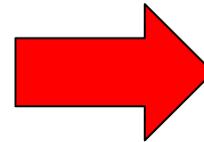
《授業のながれ》

- ① 児童が書いた夏休みの絵日記を用意
- ② 絵日記を写真撮影
- ③ 写真をカードに貼り付け、大きさなどを調整
- ④ 完成後、先生に提出する

ICT活用のポイント
ロイロノートでは絵日記や作品を撮影し、撮影した写真をカードに貼り付けられるので、低学年でも簡単にカードの作成と提出がおこなえます。

2 ©本事例は実施校様より、画像掲載、事例掲載の許可をいただいております。

R4.10月発行



化を表現する

その時の自分の気持ち

に貼付け、提出する

合う

を使い立場（自分・家族）

《支援員から受けた支援》

- ・先生に「心の数直線（熊本市教育センター ICT支援室作成）」の紹介 <https://x.gd/cxT9A>
- ・ロイロノートの使用方法の紹介
- ・授業中の活用支援

自分の気持ちを数値化して表すことができ、他の生徒

R5.2月発行

令和5年度の取組について

基本方針3

ICTを活用するための環境整備

◎各学校のネットワーク回線利用状況の確認と増強の 検
討 3-(1)-①

◎体育館Wi-Fi環境の整備 3-(1)-①

◎学習履歴(スタディログ)をはじめとした
さまざまな教育データを活用する研究の推進
3-(1)-③

令和5年度の取組について

基本方針4

学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築

- ◎推進計画を踏まえた学校経営に関する校長研修
の実施 4-(2)-①
→「GIGAスクール構想推進に関する校長研修」
の開催(6月19日を予定)
- ◎市民向け周知方法・啓発 4-(2)-④
→社会教育施設との連携
市政出前講座の登録 PTAのイベント 等を検討